

学習ポートフォリオの使い方

1. 学習ポートフォリオとは？

学習ポートフォリオは、学習者が自ら学習の計画・管理をし、教室内外で積極的に学習に取り組み続けることを助ける教材です。学習者は目標の設定、経過、振り返りを記録することで、自らの学習を管理します。母語で記録してもよいですが、学習者の日本語能力の向上や学習ポートフォリオの習慣化によって、日本語での記録が増えることが理想です。

2. 学習ポートフォリオの構成とそれぞれの使用方法

学習ポートフォリオは、【1】から【10】で構成されています。それぞれ目的・機能・利用時期が異なっていますが、『日本に住もう』で学習しながら、利用することを想定してつくられています。ここでは、『日本に住もう』全 22 課を「コース」と呼び、7～8 課分の学習をひとつの区切りとして、「セッション」と呼んでいます。コースやセッションの前後は学習の振り返りや目標設定を行う時期になります。

【1】ポートフォリオの使い方

学習者に向けた学習ポートフォリオの利用方法を図解したものです。

【2】コースの前に

最初に記録するポートフォリオです。『日本に住もう』で学習前の学習者の現状を記録します。

【3】生活の日本語とは

学習者が日本での生活に必要なと思われる行為のリストです。本冊子には掲載しておりません。文化庁ホームページ上で公開されている「標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例(詳細版)」の学習者の母語版と、日本語ふりがな版をご使用ください。学習者のニーズを知ることや目標設定に使います。

【4】このセッションで勉強すること

目標とする行為の学習前と後の達成度を自己評価します。学習者と相談し、学習する課を決めます。7～8 課分をひとつのセッションとし、目標行為を学習する前に「◎○△」で自己評価し、学習後にも「◎○△」で自己評価します。その自己評価を教師が評価する欄もあります。また、目標行為を教室外の生活上で行った場合、実践の出来を自己評価します。

【5】教室内の目標と振り返り

毎週の学習を記録、管理します。教室内部での目標をセッションの始めに自ら設定します。毎授業後に、自分が設定した目標の達成度をパーセンテージで評価し、その理由を記述します。また、設定した目標のほかに、特に努力した点を記述します。セッションの終わりには、設定した目標の達

成度を自己評価します。また、目標以外に努力した点を振り返ります。この振り返りを踏まえて、次のセッションへの目標設定ができることが望ましいです。

【6】教室外の目標と振り返り

毎週の学習を記録、管理します。教室外での目標をセッションの始めに自ら設定します。毎授業後に、自分が設定した目標の達成度をパーセンテージで評価し、その理由を記述します。また、設定した目標のほかに、特に努力した点を記述します。セッションの終わりには、設定した目標の達成度を自己評価します。また、目標以外に努力した点を振り返ります。この振り返りを踏まえて、次のセッションへの目標設定ができることが望ましいです。

【7】活動の記録

毎授業の学習目標の達成度を自己評価・他己評価します。毎授業には3～4つの学習項目があり、それぞれを☆を塗ることで自己評価します。自己評価後に、ペアやグループを組んでいた学生と交換し、同じように☆を塗ることで評価してもらいます。

【8】セッションの後に

学習を振り返るためのポートフォリオです。日本語能力や日本語学習方法について、自ら客観的に記録します。『日本に住もう』全 22 課を学習したあと(コース後)だけではなく、7～8課分学習後(セッション後)に、毎回記録することで、日本語能力が進んだことや学習方法の広がりをみることができます。

【9】便利なページ

50 音表や文字学習プリント、便利な外国人向けの日本語学習URLなど教師が授業で紹介したものを学習者が記録、または配布プリントを入れていきます。記録するもののページは存在しません。

【10】わたしのほんご

学習者のこれまで・これからの日本語学習経験、日本語能力を客観的に測るテストの受験経験、日本語を使って行った社会的な活動経験を記録します。